東部まちづくりセンター新聞

第２１号
発行年月
令和８年１１月

東部まちづくりセンターについて

東部まちづくりセンターは、東部まちづくりセンターと南消防署豊岡出張所、豊岡地域包括支援センターの複合施設で平成27年（2015年）に開設した施設です。

窓口・電話受付時間変更のお知らせ

令和８年１１月２日（月）から窓口と電話の受付時間が変更となります。窓口にお越しの際は、受付時間内にお越しいただきますよう、お願いします。



【変更後】午前９時から午後５時まで

※毎週木曜日の市民課窓口の開設時間延長（午後７時まで）は今後も継続します。



旭川市東部まちづくりセンター　0166-33-1110

東部まちづくりセンターの窓口業務について

東部まちづくりセンターでは、次の業務を行っています。

・各種証明書の発行
　（住民票、戸籍、印鑑証明、所得証明、納税証明など）
・市税・保険料・上下水道料等の収納、納付書再発行
・非課税世帯確認証の発行（がん検診・高齢者等定期予防接種など）
・介護保険各種申請の受付
・高齢者向けの三療（あんま、はり、きゅう）、寿バスカード関連手続き
・母子手帳の交付
・地域清掃ゴミ袋の配布
・市役所各部の業務取次



※住所変更、印鑑登録、マイナンバーカード関連、国民健康保険、国民年金、子育て手当関係等の手続きは行っておりません。市役所や各支所の窓口にお問い合わせください。

平日：午前9時～午後5時　※土日祝を除く

CHECK!

子どもの居場所のボランティア活動に参加しませんか？



愛あい～子どもの居場所って？

愛あいは、２０１７年から始まり、愛宕公民館で近隣の小学生等を対象に、子ども同士や地域住民の交流を目的とした放課後の居場所を提供しています。
一緒に活動してみませんか？



【主催】愛あい（子どもの居場所づくり事業実行委員会）
【共催】愛宕公民館
　　社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会

※愛あい～子どもの居場所は、旭川市が行う「地域まちづくり推進事業」として実施しています。

開催日、開催場所等は？



【場所】愛宕公民館
【日時】毎週第２、第４水曜日
【内容】
　近くの小学校に通う小学生や幼児と一緒に工作や様々な遊びを行っています。
　ボランティアの方には、子どもたちと一緒に遊んだり、見守り、開催前の準備などを行っていただきます！
【遊び】
　運動系：吹き矢、スラックライン、卓球など
　工作系：鯉のぼり作り、アイロンビーズなど

※開催日時、内容の詳細はちらをご覧ください →

活動の様子



たくさんの子どもたちが来ています！！

子どもたちと一緒に遊んでみませんか！？







子どもたちから元気をもらっています！！



作成・発行　078-8233
旭川市豊岡3条3丁目5番10号 旭川市東部まちづくりセンター
TEL 0166-33-1110　FAX 0166-33-6789

旭川市南消防署

豊岡出張所から発信！



救急車がたりません！

「救急車を本当に必要とする人」のために！

旭川市内では、11台の救急車が24時間体制で対応しています。
昨年の救急出動件数（市内）は19,822件（前年比289件減）でした。これは救急車を27分に1回要請していることになります。そして、このうち**約5割の方は、入院の必要がない「軽症」の患者さん**でした。

豊岡出張所の救急出動件数は2,000件弱で、そのうち**約4割**の方が「**軽症**」の患者さんでした。豊岡出張所は市内でも救急車の出動件数が多い地域です。

緊急性がなく、救急車以外に搬送手段がある場合は、自家用車や公共交通機関、または民間の患者等搬送サービスをご利用するなど、御協力をお願いいたします。

困ったときには！！

こんなアプリもあるよ→



あなたの想いを一番大切に。自分らしく暮らすために。

— 「意思決定支援」を知っていますか？ —

「今日は何を食べよう」
「これからも、住み慣れた家で暮らしたい」
「誰かの手を借りながら、買い物を続けたい」

毎日の小さな選択にも、これからの暮らしにも、一人ひとりの大切な想いがあります。**「意思決定支援」**とは、ご本人が必要な情報を得て、気持ちや考えを伝え、自分で選んでいけるように支えることです。そして、その選択を暮らしの中で実現する方法も、一緒に考えます。

■ 迷っても、すぐに決められなくてもいい

説明を聞いても、よく分からない。気持ちをうまく言葉にできない。そんなときもあります。

分かりやすく説明する、写真や実物を使う、落ちつける場所でゆっくり話す。伝え方や環境を工夫することで、想いを確かめやすくなります。どんなときも、その人の想いや好みを大切にすることは変わりません。

■「どうしたいですか？」から一緒に考える

たとえば買い物に行くことが心配になったとき
「買い物のどんなところが楽しみですか？」
「何があると安心して出かけられそうですか？」

自分で品物を選ぶ楽しみや、お店の人との会話など、ご本人が大切にしていることを聞きながら、付き添いや移動の方法を一緒に考えます。

■ 気持ちは、変わっても大丈夫

一度決めたことも、体調や暮らしの変化に合わせて見直せます。
「今はこう思う」「もう一度考えたい」という気持ちも大切です。
ご本人の声に耳を傾け、ご家族や関係する人たちとともに、その人らしい暮らしを考えます。
あなたが大切にしていること、これからも続けたいことを、聞かせてください。

豊岡地域包括支援センター
0166 - 35 - 2275
（東部まちづくりセンター内）

どうぞ、どんな小さなことでもご相談ください

困りごとがあるときに、だれかに相談できることは、とても心強いものです。

あなたのこころがホッするひととき気持ちがほころぶこと、小さな幸せをまんなかに置きながら、あなたらしく暮らせる道を一緒にみつけていきませんか？



文：豊岡包括支援センター
社会福祉士　山下 由香莉